



第25号

港北区体育指導委員
連絡協議会広報紙

活き生き体指

KOHOKU

No.25

平成16年12月15日発行

発行者

港北区体育指導委員連絡協議会

編集

港北区体指協広報委員会

事務局

横浜市港北区大豆戸町26-1

横浜市港北区役所地域振興課内

☎ 045-540-2240

FAX 045-540-2245

第9回港北区ペタンク大会

ペタンク大会の概要と感想

太尾地区 有馬 重佳

9月5日(日)が雨のため順延になり9月19日(日)、樽町公園多目的広場にて第9回港北区ペタンク大会が行われました。区内13地区から選出の48チームに加えて一般参加16チームの計64チーム、総勢192名の参加を得て、本年も盛大な大会となりました。

今大会も、午前中は16ブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロックの上位2チームが午後の決勝トーナメントへ進出するという方式で行われました。

予選リーグ、決勝トーナメントともに1ポイントを争う好ゲームが多く、試合が進むにつれて、会場は一喜一憂の歓声と溜め息に包まれ、大変熱気のある大会となりました。

このような接戦の中、決勝戦は日吉地区のチーム同士の対決となり、第9回大会優勝の栄冠には日吉台Bチームが輝きました。

なお、昨年と同様に、試合の審判はそれぞれのブロック内のチームの方が行う(大会役員はコート責任者として試合の進行・運営を担当する)という方法で進められましたが、参加各チームの皆様のご協力のおかげで円滑な試合運営ができたと感じております。

今後とも、年齢を問わず誰にでも手軽に楽しむことができる生涯スポーツとして、ペタンクが広く普及していくことが期待されます。



優勝・準優勝チームのみなさん

ペタンク大会に参加して

日吉地区 日吉台町会長 田村 吉章

私達は三年前から町会で子供達と一緒に始めました。当初は発祥の地がフランスであることも又ルールも全く知りませんでした。当然面白味も興味も持っていませんでしたが、わが町内会の体育指導委員の熱烈な情熱に動かされ和気あいあいとやっているうちに、他町会の人達とも合同でやる機会を得、練習試合等をやって益々面白味がわかってきました。最初のうちは大会に参加する事に意味ありと感じていましたが、二度三度の出場と共に上位を目ざそうと思う気が起こり、この気持が九月の残暑をものともせず、全員の集中力が結集持続され、チーム力、作戦力も高まり五戦連勝し、64チームの頂点に、たつ事が出来ました。最終決戦は大勢の人達が観戦する中で同町内会同士(日吉台A、日吉台B)の決勝戦となりましたので楽しくゲームが出来ました。過去八回の大会では、同じ町内会同士の決勝戦は無いと聞きました。全く予期せぬゲーム展開となり兄弟で優勝準優勝が出来る最高に嬉しいです。

第9回港北区ペタンク大会順位

優勝…日吉台 B

準優勝…日吉台 A

3位…太尾ハイム B

4位…アルカディア高田



えいっ!

新吉田地区大運動会を終えて

新吉田地区 内田 達

第34回新吉田地区「大運動会」を平成16年10月10日(日)新田小学校を会場に開催いたしました。毎年のことですが気がかりなのは天候でした。開催日前夜、台風22号が関東地方を通過し開催が危ぶまれましたが、翌朝のグラウンドは一滴の水たまりも無いのには驚きました。2年前改修工事が行われ、水はけは良いと聞いていましたが、これほど良いとは思いませんでした。



これから頑張るぞ



ヨイショ、ヨイショ

この日は一日中うす曇りでしたが、スポーツをするには最適の気温になりました。地区内には身障者施設がいくつもあり、毎年参加を呼びかけてまいりました。今年も9名(車椅子)の方が参加され一般出場者と共に競技し、とても楽しそうでした。何と言っても人気種目は買い物競走です。商品は「スパゲティー」と「マカロニ」料理の材料です。メニューは2種類で、Aのメニューはスパゲティー1袋、ケチャップ1本、タマネギ3個、Bはマカロニ1袋、マヨネーズ1本、タマネギ3個です。出場者はA、Bいずれかのメニューを選び目的の商品を揃えてチェックポイントへ、メニューと商品を照合し、間違いが無ければゴールインです。この競技は毎年200名以上の出場者があり欠くことの出来ない目玉種目です。また、昨年よりご来場の皆さんに、より一層楽しんで頂くため「お米5kg」が24名に当たる抽選会を設け大好評です。これからも楽しめる内容を目指し「体指」一同、更に努力してまいりたいと思います。

特集 健民祭

※今回は6地区の健民祭について、御紹介する予定でしたが、菊名地区と新吉田あすなろ地区が雨のため実施できませんでしたので、4地区について、御紹介します。

大曽根地区健民祭

大曽根地区 大島 康孝

大曽根地区の健民祭は10月10日(日)に、大曽根小学校で開催されました。開催の為に企画・運営は、自治連合会・体育指導委員会を中心に、事業実行委員会が組織され、運営方法・参加賞や賞品の選定・実施種目・役割分担等を決定しました。例年通り各係のチーフは体指が担当して行いました。予備日の開催ではありましたが、総勢700人余りが参加し、18種目の競技を行い、内6種目は、町会対抗競技で優勝を目指す競技として、13チームにわかれて行ないました。今年はガーデンズチームの初優勝となりました。他の競技も、子供から高齢者の方々が誰でも参加できる種目を取り入れたことによって、「全員選手」・「全員参加」の場として、地域住民の方々の、交流の場としての健民祭であったと思います。昼休みに行いました、フォークダンスが予想を上回る参加人員で大変盛り上がったのが印象に残っております。当日、実行委員会の反省会を行い、来年の健民祭が今年以上の成功になる様に、意見交換を行いました。最後に健民祭の準備・運営に、お手伝いいただいた方々に、大変感謝申し上げます。



イチ・ニイ・サン・シー



ゴール目前

綱島スポーツフェスティバル

綱島地区 大谷 幸弘

10月10日(日)、綱島小学校にて、13町会約1500人参加の下、盛大のうちに実施することができました。そこで、良かった点を挙げてみたいと思います。①幼児から高齢者迄、各世代が参加できる種目を組んだこと。特に子ども対象の種目が充実しています。②人気種目の存在。パン食い競争、飴食い競争、持久走など。何れも参加人数が多いのですが、持久走は、子ども、成人を計5回の部に分けて行っています。③競技だけでなくお祭りの要素も取り入れてること。各町会からの模擬店、昼休みのアトラクションで行われる各種踊り、ウルトラクイズなど。④町会対抗種目の充実。全21種目中、7種目が対抗種目です。＜綱引き(予戦・決勝戦)、子ども障害物リレー、障害物リレー、大縄跳、宅配リレー、年代別リレー＞。対抗意識が大会を大いに盛り上げます。⑤参加賞の充実。限られた予算の中で、工夫して用意しています。⑥町会役員、体育指導委員、青少年指導員が一体となって大会を運営していること。以上です。今大会は種目内容の変更と持久走のコース変更があり、準備会議では活発な議論の展開と入念な検討が行われました。そして、当日は苦勞の甲斐あって、スムーズに運営することができました。町会及び大会関係者の皆様への感謝の気持ちと一仕事やり遂げたという満足感一杯の大会でした。次回も沢山の人の来ていただき盛会となりますことを祈っております。



みんなで整列

新羽地区健民祭

新羽地区 小松 賢吉

今年は週末になると台風の影響で天候が崩れるなか、10月17日はよく晴れ絶好の健民祭日和となりました。競技種目は全部で17種目。運動会定番の世代別徒競走、マラソン、玉いれをはじめ、新羽特産の大根やレタス、きゅうりなどを幼児が買い物物をシミュレーションする「買い物ゲーム」、練習の成果を発揮していただく「ゲートボール」、忙しい世代のお父さんお母さんも、たまには他人と縁を結び二人三脚でゴールする「たまには他人と縁結び」、町会ごとに児童がチームを編成してたくさ



あら!こんな仮装の応援も

んのボールを蹴って相手のゴールに入れる「ボール運びサッカー」、時事や地元の事を題材にしたクイズに会場の全員が回答する「ウルトラ〇×クイズ」など、幼児からシルバー世代まで幅広く楽しんでいただける種目もあります。

各町会で得点を競う町会対抗競技は4種目。「ムカデリレー」は練習の成果がかならず結果にむすびつきますので、各町会とも始まる直前まで熱心に練習。「綱引き」も全体重をいかに綱に託すことができるかというコツを研究し作戦を練るなど、単なる力試しの域を超えつつあります。「バラエティーリレー」はいわゆる障害物リレーで、障害の詳細は競技が始まる直前までわからず、運動神経よりも落ち着いた対処と要領のよさが肝心。大会の最後を飾る競技は「リレー」で、順位は毎年入れ替わり常勝の町会は皆無。優勝や順位が行方が左右されるので、会場全員が目が8人の第一走者に向けられ、スタートのピストルが鳴る直前は一瞬静寂に包まれます。会場の誰もが息を飲んでトラックに集中するこの瞬間は、まさしく大会のクライマックスにふさわしいものです。

31回という歴史を重ねてきました新羽地区健民祭は、諸先輩方の努力でここまで引き継がれ、今大会もたくさんの方のご協力を得て無事終えることができました。

これからも地域の健康増進と世代や地域交流の促進に貢献する行事として引き継がれていくことでしょう。



はじまる、はじまる、入場行進

夏休み子どもスポーツフェスティバル

菊名地区 小沢 正信

長年夏休みの一週間子供達とかかわってきた子供水泳教室。台風がきたり、水温があがらずふるえがとまらない子がいたり、雨で体育館の講習になったり、毎年室外プールの為心配、なやみごとが多かったと思います。また平日開催のため役員の配置も大変だったと思いますが、泳げなかった子が泳げるようになってうれしそうな笑顔や、お母さんのよろこびをみるにつけ、がんばってやってきたことがよかったと思っています。いろいろ工夫はしてきたわけですが、もう少し参加者があったらとくやまれます。



白熱するユニホック

継続か代替かで検討してきたところへ、港北スポーツセンターのご厚意で体育室を一日お借りできることになりました。夏休み子どもスポーツフェスティバルと名前をかえて、8月8日に開催いたしました。体指からは普及に力を入れてきましたグラウンドゴルフ、ペタンク、篠原地区で普及しているユニホックの3種目を実施しました。また、スポーツセンターの企画した一輪車、体力測定、昔遊び体験のコーナーのほか、港北区体育協会からも、太極拳の参加をいただきました。

初めての試みとして不安もありましたが、誰もが身近な地域でスポーツを楽しむことのできることを目指す「総合型地域スポーツクラブ」づくりへの一歩として何か得るものがあったと思います。



うまく乗れるかな

ふるさと港北ふれあいまつりに参加して

新吉田あすなろ地区 千葉 晃一

ふるさと港北ふれあいまつりが、10月23日(土)に新横浜駅前公園で開催されました。10月は秋雨前線と台風による影響で、週末は天候の悪い日が続き心配でしたが、当日は、さわやかな秋晴れになり安心しました。

そして、体育指導委員のブースでは、グラウンドゴルフ・ペタンクを1時間交代で実施し、大勢の人達に指導し、また体験していただきました。

指導では、簡単にゲームとルールを説明し、体験では、実技に挑戦して頂きました。参加者は楽しくまた真剣に挑戦し指導する体指の方も熱が入りました。子供さんから高齢者まで、幅広く参加して頂き嬉しく思いました。そして、午後からは、デカレンジャーショーのステージ整理、握手会の行列整理を行いました。デカレンジャー

は、幼児・小学生から保護者にまで、すごい人気ですね。握手会は握手する人達の整理に大変でしたが、無事に終わりほっとしました。でも、保護者の方も相当に熱が入っていましたね。

皆さん大変ご苦勞様でした。



ナイスショット

編集後記

お疲れ様です、菊名地区体育指導委員3年目の原でございます。今年は、体育指導委員主催のイベントに台風が多く様々な行事に影響を与えてしまいました。港北区体育指導委員研修会の延期、菊名地区での大イベント健民祭の延期、予備日も雨(中止)と散々な年となってしまいました。ま

た個人的には、引越しにて今年度で菊名地区体育指導委員を退く事になりました。3年間と短い間でしたが、とてもすばらしいメンバーと仕事が出来たと思います。広報委員も2年間大変お世話になりました。残り数ヶ月ではございますが宜しくお願い致します。 菊名地区 原 正通